

# PIDJ2 News letter No3



2025年4月1日 日本免疫不全・自己炎症学会 PIDJ2研究事務局発行

事務局からのお役立ちメモ

2025年3月24日より、臨床研究等提出・公開システム(jRCT)、認定臨床研究審査委員会申請・情報公開システム(JCRB)、研究倫理審査委員会報告システム、臨床研究情報ポータルサイトのURLが変更となっております。ブックマークやお気に入り登録をされている場合は、設定変更が必要となります。



## <未解析NGSデータの二次利用研究>



研究責任医師

日本免疫不全・自己炎症学会(JSIAD)は、2025年2月より、保険診療で実施された遺伝学的検査から副次的に得られた「未解析NGSデータ」の解析サービス(二次利用)を開始しました。これにより、保険適用範囲内で解析可能な原発性免疫不全症関連の責任遺伝子(2025年3月時点で242遺伝子)を一括解析できるようになり、**該当患者の診断率向上**が期待されます。広島大学では、未解析NGSデータの二次利用により、約10%の患者で病的バリエントが検出され、確定診断に至っています。

本事業に参加するには、**PIDJ2への同意取得および臨床情報の登録が必要**です。具体的な運用方法は、QRコードからご確認ください。検出されたバリエントの病的意義は、登録された臨床情報に基づいて評価されます。

現時点では、**自己炎症疾患および補体欠損症を除いた原発性免疫不全症を対象**としていますが、将来的には対象疾患を拡大していく予定です。学会主導による未解析NGSデータの解析サービスは、本邦初の試みです。学会員の先生方とともに本事業を進展させていければと考えています。



広島大学 小児科  
教授  
岡田 賢



未解析NGSデータの  
二次利用研究

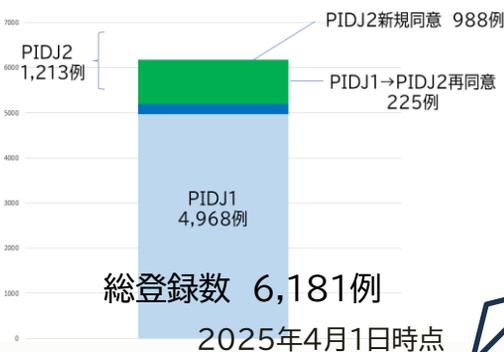


PIDJ2共同研究施設/連携施設専用サイトのためIDとPWが必要です。



未解析NGSデータの二次利用に関するお問い合わせは  
[pidj@jsiad.org](mailto:pidj@jsiad.org)までご連絡下さい。

PIDJ1からPIDJ2への**再同意**、**新規症例**の登録をお願いします。



## 免疫グロブリン製剤使用状況調査



PIDJ2レジストリにおいて、患者さんの治療薬情報は、とても重要な情報となります。特に、免疫グロブリン製剤の使用状況データは今後の治療エビデンスや臨床研究、製剤開発において活用される可能性の高い情報となります。PIDJ2症例データ入力にご協力をお願いいたします。また、使用状況のアンケート調査も継続して実施を予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。

## <クエリ入力のおお願い> **入力期限延長**

PIDJ2登録症例の年次調査にご協力いただき、ありがとうございました。ご入力いただきました内容を確認し、順次クエリ(疑義照会)のご依頼を遅らせていただきます。

**5月15日(木)**を目途にご対応いただけますと幸いです。入力に関するご質問は、PIDJ2メンバー専用サイトのお問い合わせフォームまでご連絡ください。



<PIDJ2に関するお問い合わせ/各種情報>

お問合せは「PIDJ2共同研究施設およびJSIAD連携施設用サイト」の問い合わせフォームからお願いいたします。

各種情報は「PIDJ2共同研究施設およびJSIAD連携施設用サイト」に掲載しております。



しめ切り

## PIDJ2入力IDについてのお知らせ

入力IDの適正管理のため、1年以上ログインされていない方、研究計画書4.0版以降の施設実施許可書未提出の施設の方研究登録ができなくなっております。

**入力ができない先生方は、事務局までご連絡をお願いいたします。**

